

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271401814		
法人名	有限会社 みらい		
事業所名	グループハウスおよりの郷Ⅲ		
所在地	長崎県南島原市有家町大苑1967番地		
自己評価作成日	令和5年9月5日	評価結果市町村受理日	令和5年11月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入所に際しては緊急性のある方を優先し、担当ケアマネジャー、各関係機関と連携しながら早急に入所の手配ができるように努力しております。以前より介護度も低くなり入居者様も活動的で行事等にも積極的に参加され施設内が明るく、楽しい雰囲気になっております。体調の急変時には主治医と速やかに医療連携できる体制づくりに努めております。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/42/index.php">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/42/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構
所在地	長崎県島原市南柏野町3118-1
訪問調査日	令和5年10月27日

ホームにはイチジク、山桃、サクランボ、柿の木を植栽し、広々とした自然豊かな環境の中にある。天候の良い日には中庭を入居者が散歩し、池の亀や鯉に餌をやりベンチに座り談話をするなど気分転換を図っている。庭のイチジクや山桃でジャム作りをしたり、サクランボや渋柿をつるして収穫を楽しんでいる。協力医が、毎日、両ユニットに往診に向いて来ており、日常の健康管理や急変時の対応等、医療との連携がなされ、本人や家族の安心に繋がっている。空いている居室1室を減圧室とし、コロナ感染時の対応に備えている。理念である「のどか・のんびり・ゆっくり」を玄関・リビング・職員のロッカーに掲示し、日々職員への意識づけを図りながら介護の実践に努めている。毎月のミーティングにて理念を振り返り、家庭的な雰囲気の中で入居者にとって居心地の良い環境を提供し、家族・本人の意向に沿った支援に努めているホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: A棟)	実践状況(ユニット名: B棟)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	およりの郷グループ共有の理念に基づき 職員一人ひとりが処遇に努めております。家庭的な雰囲気の中で入居者様に生活して頂けるよう個々の生活スタイルを尊重し支援させて頂いております。	およりの郷グループ共有の理念に基づき 職員一人ひとりが処遇に努めております。家庭的な雰囲気の中で入居者様に生活して頂けるよう個々の生活スタイルを尊重し支援させて頂いております。	理念「のどか・のんびり・ゆっくり」を玄関・リビング・職員のロッカーに掲示して職員に対し日々意識づけを図り介護の実践に努めている。毎月のミーティングを通じて理念を振り返り、家庭的な雰囲気の中で入居者に居心地の良い環境を提供し、家族や本人の意向に沿った支援に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍でここ数年は家族、地域との接触を自粛しておりましたが、5月より少しずつ接触の範囲を緩和しておりますので 今後、コロナウイルスが再拡大しないことを願いながら地域、自治体との活動の幅を広げていきたいと思っております。	コロナ禍でここ数年は家族、地域との接触を自粛しておりましたが、5月より少しずつ接触の範囲を緩和しておりますので 今後、コロナウイルスが再拡大しないことを願いながら地域、自治体との活動の幅を広げていきたいと思っております。	家族や地域とのつき合いができるよう本年5月より面会制限を緩和するなど再開し取り組んでいたが、9月よりインフルエンザ等の流行により、再度、家族や地域との交流を自粛している。管理者はコロナ禍収束後は高校生の職場体験など地域との交流を再開する意向である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ禍で外部との接触を控えきたため電話での相談があった時は対応していました。	コロナ禍で外部との接触を控えきたため電話での相談があった時は対応していました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	7月開催の運営推進会議までは書面にて開催させて頂き、写真や広報誌を添付してわかりやすく内容の説明を行いました。9月からは集合形式にて開催予定です。	7月開催の運営推進会議までは書面にて開催させて頂き、写真や広報誌を添付してわかりやすく内容の説明を行いました。9月からは集合形式にて開催予定です。	2ヵ月毎に実施している運営推進会議は、コロナ禍にて書面会議としている。日々のホームの活動内容報告、行事報告を議事録として地域包括支援センター所長・家族代表・民生児童委員に配布して説明し、同意書を取っている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: A棟)	実践状況(ユニット名: B棟)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	コロナ禍で電話での対応が主になったが各行政機関の担当者と連絡をとり情報を共有しながら関係構築をはかった。	コロナ禍で電話での対応が主になったが各行政機関の担当者と連絡をとり情報を共有しながら関係構築をはかった。	地域包括支援センター所長が運営推進委員となっており、運営推進会議開催時にホームの実情や取り組みを知らせ、地域の情報交換を行っている。市福祉課保護班の職員が訪れたり、必要に応じて障害者手帳の更新や介護保険更新手続きを代行するなど行政の職員と協力関係を構築している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は入居者様の身体面、精神面の状態把握に努め拘束のないケアに努めております。転倒リスクが高い入居者様につきましてはご家族に相談し自室や共有スペースの危険個所の整備し対応しております。社内研修として身体拘束に関する勉強会を定期的で開催しております。	職員は入居者様の身体面、精神面の状態把握に努め拘束のないケアに努めております。転倒リスクが高い入居者様につきましてはご家族に相談し自室や共有スペースの危険個所の整備し対応しております。社内研修として身体拘束に関する勉強会を定期的で開催しております。	玄関は日中は施錠せず、職員が入居者の見守りにて対応し、夜間のみ施錠をしている。入居者の頻繁な転倒リスクに伴い、家族の同意を得て10月より介護ロボットを導入し、体温・血圧・眠りの状態などを管理している。3か月毎の身体拘束委員会を職員会議に合わせて開催している。身体拘束に関する内部研修にて職員へ周知を図り、身体拘束のないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関しては日頃より申し送りや職員会議にて職員間で共有し虐待防止に努めております。	虐待防止に関しては日頃より申し送りや職員会議にて職員間で共有し虐待防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	活用したことはないが権利擁護については、福祉に携わる上で基本的かつ重要なことなので機会があれば学習し活用できるようにと考えております。	活用したことはないが権利擁護については、福祉に携わる上で基本的かつ重要なことなので機会があれば学習し活用できるようにと考えております。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: A棟)	実践状況(ユニット名: B棟)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約については出来る限り分かりやすく説明するよう努めております。質問があればその都度お答えできるように対応しております。	契約については出来る限り分かりやすく説明するよう努めております。質問があればその都度お答えできるように対応しております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	当ホームでは入居者様をご家族と共に支え、入居者様とご家族との関係性がいつまでも繋がっていくように日頃の生活状況や行事への参加、受診等についてをお手紙にて報告させて頂いております。	当ホームでは入居者様をご家族と共に支え、入居者様とご家族との関係性がいつまでも繋がっていくように日頃の生活状況や行事への参加、受診等についてをお手紙にて報告させて頂いております。	運営推進会議には家族代表も推進委員となっており意見を聴取している。毎月、利用料の請求時に入居者の生活の様子のほか、病院受診後の状態を手紙に書いて知らせるなど家族の安心になっている。家族の意見や要望は、電話や面会時に聞き、職員は職員連絡帳にて共有し運営に活かしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者、管理者は入居者様や職員との関わりを持ち運営状況の把握に努めております。職場環境の整備、業務の改善を行うことで職員一人ひとりが高い意識を持って処遇に努めております。	代表者、管理者は入居者様や職員との関わりを持ち運営状況の把握に努めております。職場環境の整備、業務の改善を行うことで職員一人ひとりが高い意識を持って処遇に努めております。	定期的なミーティングにて職員間で話し合い、必要な改善を講じている。定期的な上司との個別面談の機会は設けていないが、代表・主任は日頃の業務の中でその都度職員の意見・要望を聞いている。職員意見を確認し、業務上必要な物品等を随時購入している。職員同士は日常的に相談できる関係を持ち、チームワークも良く、職員の事情を考慮した勤務体制をとり、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場環境、業務の改善を図りながら職員にとってやりがいのある職場となるように取り組んでおります。	職場環境、業務の改善を図りながら職員にとってやりがいのある職場となるように取り組んでおります。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: A棟)	実践状況(ユニット名: B棟)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修への参加をおこない個々のスキルアップに努めております。職員ミーティング時に研修内容について報告を行い情報の共有に努めております。	研修への参加をおこない個々のスキルアップに努めております。職員ミーティング時に研修内容について報告を行い情報の共有に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修での交流はあるが相互間の訪問による交流はあまりないため今後は訪問を通じて意見交換ができるようにしたいと思っております。	研修での交流はあるが相互間の訪問による交流はあまりないため今後は訪問を通じて意見交換ができるようにしたいと思っております。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族、担当ケアマネ、医療機関の情報では不十分なところもあるため、ご本人との会話や生活を通して把握するように努めております。	ご家族、担当ケアマネ、医療機関の情報では不十分なところもあるため、ご本人との会話や生活を通して把握するように努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様には何でも相談して頂けるような関係づくりに努め、信頼関係を構築できるよう努めております。	ご家族様には何でも相談して頂けるような関係づくりに努め、信頼関係を構築できるよう努めております。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: A棟)	実践状況(ユニット名: B棟)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	出来る限りご本人、ご家族の意向に沿えるように、日頃より会話や生活状況の中からお本人が必要としている支援を見極めるように努めております。	出来る限りご本人、ご家族の意向に沿えるように、日頃より会話や生活状況の中からお本人が必要としている支援を見極めるように努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	認知症であっても人生の先輩として敬う気持ちを忘れず、支援をする中で自分自身も成長させて頂いているという思いで 処遇に努めております。	認知症であっても人生の先輩として敬う気持ちを忘れず、支援をする中で自分自身も成長させて頂いているという思いで 処遇に努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人、ご家族の望む暮らしを支援し、支えていきたいと思っておりますが、ご家族の意向に合せることが多く、ご本人に沿えない時もある。	ご本人、ご家族の望む暮らしを支援し、支えていきたいと思っておりますが、ご家族の意向に合せることが多く、ご本人に沿えない時もある。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の対人関係や生活環境の理解に努め、ご家族の協力のもとこれまで大切にしてきた人や場所をこれからも繋いでいけるように取り組んでいます。今後はコロナの再拡大がないことを願いながら面会、外出お機会を増やしていきたいと思っております。	ご本人の対人関係や生活環境の理解に努め、ご家族の協力のもとこれまで大切にしてきた人や場所をこれからも繋いでいけるように取り組んでいます。今後はコロナの再拡大がないことを願いながら面会、外出お機会を増やしていきたいと思っております。	親族の葬式・法事・墓参り等を家族の協力のもと入居者が参加できるように支援している。入居者が家族等に電話をかけたい時は取り次いでいる。馴染みの人や場との交流を自粛している中、入居者は将棋をしたり、カラオケを唄ったり、折り紙を折るなど、本人が好むことを支援している。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: A棟)	実践状況(ユニット名: B棟)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は、入居者様が孤立しないよう他者との交流の場を提供できるように努め、トラベルがないようリビングでの座席の配慮にも努めております。	職員は、入居者様が孤立しないよう他者との交流の場を提供できるように努め、トラベルがないようリビングでの座席の配慮にも努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了してもフォローするようには考えておりますが相談がない現状である。	契約が終了してもフォローするようには考えておりますが相談がない現状である。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様が生きがいを持ち生活して頂けるように支援することが私達の役割だと職員一人ひとりが理解し、その方が望む生活に繋がるように支援しております。	入居者様が生きがいを持ち生活して頂けるように支援することが私達の役割だと職員一人ひとりが理解し、その方が望む生活に繋がるように支援しております。	入居前のアセスメントを通じて入居者の思いや暮らし方の希望を確認し、本人や家族へ趣味や好みの食べ物などを尋ねるなど、意向や思いの把握に努めている。酒を好む方には敬老会の際にノンアルコールビールを提供するなど本人の思いに寄り添い支援に努めている。職員は日々入居者の表情や仕草を観察しながら本人の意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	各情報で把握できない時は、ご本人との会話の中から把握するように努めておりますが、コミュニケーションが困難な方については把握が難しい場合がある。	各情報で把握できない時は、ご本人との会話の中から把握するように努めておりますが、コミュニケーションが困難な方については把握が難しい場合がある。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: A棟)	実践状況(ユニット名: B棟)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の残存機能を十分に生かした活動を職員は考え、共有しながら支援しております。	個々の残存機能を十分に生かした活動を職員は考え、共有しながら支援しております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画に関しては、事前面談時にご本人、ご家族よりご意向をお聞きし、それに沿った支援内容になるよう作成し職員間で共有し支援に努めております。定期的にモニタリング会議を開催し個人カンファレンスを行い入居者様の望む生活を実現出来るよう努めております。	介護計画に関しては、事前面談時にご本人、ご家族よりご意向をお聞きし、それに沿った支援内容になるよう作成し職員間で共有し支援に努めております。定期的にモニタリング会議を開催し個人カンファレンスを行い入居者様の望む生活を実現出来るよう努めております。	入居前にアセスメントシートを用いて本人や家族の状況把握と、入居後の様子を確認している。月1回、職員会議の際にモニタリング会議を実施しており、担当職員が個人カンファレンスを行い、目標達成状況を職員間で確認している。各ユニットの計画作成担当者が本人の現状に即した介護計画の立案に努めている。介護計画は本人・家族へ説明し、署名を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日勤帯、夜勤帯それぞれに記録をおこない毎日の申し送り時に入居者様の気づきや状態変化の共有に努めております。	日勤帯、夜勤帯それぞれに記録をおこない毎日の申し送り時に入居者様の気づきや状態変化の共有に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズも日々変化すると思われるため、その方に見えない部分のニーズを発見できるように努めております。	ニーズも日々変化すると思われるため、その方に見えない部分のニーズを発見できるように努めております。		



自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: A棟)	実践状況(ユニット名: B棟)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナも以前に比べたら下火になってきているので外部との接触の制限を段階的に緩和しボランティア等の訪問もできればと考えております。	コロナも以前に比べたら下火になってきているので外部との接触の制限を段階的に緩和しボランティア等の訪問もできればと考えております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当ホームには協力医院、協力歯科医院が配置されており入居者様の健康状態に変化があったら速やかに対応できるよう日頃より連絡体制を図っております。	当ホームには協力医院、協力歯科医院が配置されており入居者様の健康状態に変化があったら速やかに対応できるよう日頃より連絡体制を図っております。	入居時にホームの協力医や協力歯科医、及び月2回の往診があることを本人や家族に説明している。入居前のかかりつけ医を継続して受診する方もいる。毎日、協力医の往診があり、急変時にはすぐに対応できるよう医療連携体制を整えており、本人・家族の安心に繋がっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホーム看護師、訪問看護師共に連携を図りながら適切な医療、看護ができるよう支援しています。	ホーム看護師、訪問看護師共に連携を図りながら適切な医療、看護ができるよう支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時も病院との連絡、情報提供を密にし退院後も病院との情報共有をおこない入居者様の体調管理に努めております。	入院時も病院との連絡、情報提供を密にし退院後も病院との情報共有をおこない入居者様の体調管理に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: A棟)	実践状況(ユニット名: B棟)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時にもご本人、ご家族に説明し同意を頂いております。ホームでの看取りの希望があれば医療との連携を図りながらご希望に添えるよう支援しております。	契約時にもご本人、ご家族に説明し同意を頂いております。ホームでの看取りの希望があれば医療との連携を図りながらご希望に添えるよう支援しております。	入居時に本人・家族へ終末期のホームの対応等を説明している。重度化した場合は、家族、医師、看護師、職員と相談して今後の方針を共有し支援に努めている。看取りのケアプランの書式を整備し、今後、家族の希望に応じてホームで看取りを実施する意向である。	ホームで看取りを実施するための体制づくりのためにも、あらためて医療とケアの話し合いのプロセスを確認すると共に、職員が看取りの方針やケアについて共通認識を持ち、本人の最期を支援できるよう職員研修の実施・参加や、看取り支援後の職員へのケア実施等、今後の体制づくりに期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	夜勤帯はホーム看護師が不在なため、協力医への連絡、対応となっているのが現状です。	夜勤帯はホーム看護師が不在なため、協力医への連絡、対応となっているのが現状です。	/	/
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	定期的に避難訓練をおこない、火災、地震、水害等を想定した訓練をおこない日頃より有事の際に備えております。	定期的に避難訓練をおこない、火災、地震、水害等を想定した訓練をおこない日頃より有事の際に備えております。	年2回、火災や地震を想定した訓練をマニュアルに沿って実施している。防火管理者が防火自主点検項目表を用いて火事を未然に防ぐために点検を実施している。	訓練マニュアルに沿った避難訓練を実施しているが記録が分かりづらい。訓練の概要や課題・反省点等、分かりやすく避難訓練実施記録を残すことが望ましい。災害に備えて3日分以上の備蓄が望ましいとされていることから、今後、備蓄の充実を図ると共に備蓄リストを作成し管理することが望ましい。また、今後、BCP(業務継続計画)の策定と同計画の研修や訓練を進めていくことを期待する。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりに合せた支援で意思の疎通を図っております。プライバシーを確保しながら関わりを持つようにしております。	入居者様一人ひとりに合せた支援で意思の疎通を図っております。プライバシーを確保しながら関わりを持つようにしております。	入職時に職員より秘密保持誓約書にサインを得、個人情報保護に努めている。10月より接遇委員会を設けホーム内研修を行い、不適切な言葉かけや対応に留意している。「すべての方に対して言葉使いには気を付けてください。」と目標を事務所・リビング・廊下などに掲示し、職員が入居者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないよう言葉かけや対応に留意している。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: A棟 )	実践状況(ユニット名: B棟 )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来る限りご本人に選択の機会を作り自己決定出来るように努めておりますが、どうしても意思の疎通ができない方についてはご家族に相談するなどしております。	出来る限りご本人に選択の機会を作り自己決定出来るように努めておりますが、どうしても意思の疎通ができない方についてはご家族に相談するなどしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り一人ひとりに合せた支援をおこなうように努めておりますが時折、施設側や他入居者様のペースに合わせてしまうこともあったおもいます。	出来る限り一人ひとりに合せた支援をおこなうように努めておりますが時折、施設側や他入居者様のペースに合わせてしまうこともあったおもいます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その方の身だしなみには注意しております。現在は入居者様の自立度も上がり自己決定できる方も増えたことからアドバイス程度の支援をさせて頂いております。	その方の身だしなみには注意しております。現在は入居者様の自立度も上がり自己決定できる方も増えたことからアドバイス程度の支援をさせて頂いております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は季節の物を取り入れ四季を楽しんで頂けるよう努めております。食器洗いや食器のふき取りを入居者様と一緒にしております。	食事は季節の物を取り入れ四季を楽しんで頂けるよう努めております。食器洗いや食器のふき取りを入居者様と一緒にしております。	食事は旬の野菜を使って調理担当職員が主に調理している。食事形態は、トロミ・刻み食など入居者の嚥下状態に合わせて提供している。中庭のイチジクや山桃でジャム作りをしたり、サクランボや渋柿をつるして収穫を楽しんでいる。入居者のリクエスト食としてトルコライスや、敬老会には手作り弁当、ノンアルコールビールの提供、誕生会にはケーキを提供するなど楽しみに繋げている。食事の後片付けは入居者の残存能力を活かし、職員と一緒に手伝ってもらっている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: A棟)	実践状況(ユニット名: B棟)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は体重の増減に合わせて主治医と相談しながら提供しております。食事形態はその方の状態に合わせて提供しております。	食事量は体重の増減に合わせて主治医と相談しながら提供しております。食事形態はその方の状態に合わせて提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアはご自身でできるところはして頂き不十分なところは介助しております。その方に合った口腔ケア用品を用いて行っています。	口腔ケアはご自身でできるところはして頂き不十分なところは介助しております。その方に合った口腔ケア用品を用いて行っています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄を基本としておりますがその方の身体レベルに応じてトイレ誘導、オムツ交換を行っております。	トイレでの排泄を基本としておりますがその方の身体レベルに応じてトイレ誘導、オムツ交換を行っております。	職員は月1回の個人カンファレンスの際、入居者個々の排泄状況を話し合い、適宜パットの大きさを変え尿漏れ防止を支援し、おむつ代の節約を図っている。日々の介護支援記録にて排泄チェック表を記入し、それぞれの入居者の身体状態によりトイレ誘導を行い、トイレで排泄できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主治医と相談しながら、投薬の他に食事や水分量の確認、適度な運動を行っております。	主治医と相談しながら、投薬の他に食事や水分量の確認、適度な運動を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: A棟)	実践状況(ユニット名: B棟)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者様が気持ちよく入浴して頂けるように個々に合せた支援方法fで清潔の保持に努めております。	入居者様が気持ちよく入浴して頂けるように個々に合せた支援方法fで清潔の保持に努めております。	入浴は週2回を基本とし、入居者個々の希望や体調により入浴のローテーションを決め、湯舟にゆっくりと浸かって楽しめるよう支援している。入浴を拒否する方には無理強いせず、職員を変更したり、清拭を行い、別日に入浴を支援するなど柔軟に対応している。菖蒲湯や柚子湯をして季節を感じてもらい入浴を楽しめるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人のペースに合わせ安心して休んで頂けるように支援しております。	ご本人のペースに合わせ安心して休んで頂けるように支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員はお薬情報により投薬の効果や副作用を理解し支援しております。	職員はお薬情報により投薬の効果や副作用を理解し支援しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴からその方のスタイルに合った活動出来る限りおこなうように努めておりますが集団での活動になってしまうことが多いようです。	生活歴からその方のスタイルに合った活動出来る限りおこなうように努めておりますが集団での活動になってしまうことが多いようです。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: A棟)	実践状況(ユニット名: B棟)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍で中々外出ができていなかったが、今後は外出の機会を増やしていこうと思っております。	コロナ禍で中々外出ができていなかったが、今後は外出の機会を増やしていこうと思っております。	天候の良い日は職員が見守りしながら中庭を散歩し、池の鯉や亀に餌をやり、ベンチに座り談話をするなど気分転換を図っている。コロナ禍の収束後は、地域の公園のさくらやコスモス等の見学を予定している。今後、ホームは感染状況を見極めながら外出を支援する意向である。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人やご家族が希望されたかたに関してはお預かりしている現金でお買い物をして頂いたおります。	ご本人やご家族が希望されたかたに関してはお預かりしている現金でお買い物をして頂いたおります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族への電話の希望がある方には職員を介して電話でお話されておられます。又、担当職員により毎月一回ご家族へ生活の様子をお手紙により送付させて頂いております。	家族への電話の希望がある方には職員を介して電話でお話されておられます。又、担当職員により毎月一回ご家族へ生活の様子をお手紙により送付させて頂いております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は入居者様にとって障がいにならないように広く取り清潔感を保ち気持ちの良い時間を過ごして頂けるように努めております。	共用空間は入居者様にとって障がいにならないように広く取り清潔感を保ち気持ちの良い時間を過ごして頂けるように努めております。	リビングからは手づくりの食事の香りが漂い、家庭的な雰囲気が伺える。廊下が広いA棟では歩行訓練用の平行棒を設置し、B棟では腕の運動用に滑車を設置し、入居者の機能訓練ができるよう整えている。職員は毎朝、掃除機かけとモップ掃除、食事前後の掃除、月2~3回は次亜塩素酸水による要所の拭き掃除を行い、清潔に保たれた共用空間づくりに努めている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: A棟)	実践状況(ユニット名: B棟)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	施設中庭が広く自由に散歩もできベンチや鯉が泳ぐ池もあり職員と一緒に散歩したり、入居者様同士で談笑するなど気分転換を図っております。	施設中庭が広く自由に散歩もできベンチや鯉が泳ぐ池もあり職員と一緒に散歩したり、入居者様同士で談笑するなど気分転換を図っております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅から使い慣れたか家具や身の回りの物を持って来て頂いております。身の回りの物は配置を考慮し入居者様が使いやすいようにしております。	自宅から使い慣れたか家具や身の回りの物を持って来て頂いております。身の回りの物は配置を考慮し入居者様が使いやすいようにしております。	居室はベット、クローゼット、洗面台、トイレ、エアコンを設置し、職員が毎日、掃除機掛けやモップ拭きを行い、整理整頓を心がけている。居室に馴染みの寝具・テレビ・置き時計・整理ダンス・家族の写真・仏壇を持ち込む方もおり、入居者の生活同線を考慮しながら過ごしやすいよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様の生活動線を考え、危険を予測し物品の配置に気を付けております。	入居者様の生活動線を考え、危険を予測し物品の配置に気を付けております。		